

## <山口七夕会2020ビジョン>を一緒に考えましょう!

新しき年も明けて早くも二月となり立春も過ぎました。梅の花便りも届くようになりました。会員のみなさまにはつつがなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年7月の総会で新しい役員体制でスタートした山口七夕会も新しい役員同士の交流の場を定期的に設けるなど意思疎通を図りながら半年が経過しました。役員の間で語り合いを始めた今後10年の活動のあり方も一定の方向性が出てきました。これからは次の三つのキーワードを軸に、会員の皆様の意見をアンケートや4月の会員交流会の場でお聞きしながら、さらなる発展の10年をめざして<山口七夕会2020ビジョン>を策定してまいります。

『キーワード』

1. ふるさと山口との交流拡大
2. 会員拡大～市域の拡大・首都圏から全国に仲間の輪を広げよう!～
3. 女性&次代を担う世代の参画

まず、ふるさと山口との交流拡大に向けては、3月に役員有志で帰山し、渡辺市長や関係団体と今後の交流について意見交換して来る予定です。

次に会員拡大の取り組みとしては、平成の大合併で市域が拡大し、人口19万人を超える新しい山口市が誕生しました。首都圏でも新しい市域の仲間を会員に迎えるべく防長倶楽部や山口県東京事務所との連携を密にしていきます。さらに女性や若い世代の会員を増やしていくために、世代を超えた経験智を横糸にして老壮青少年が縦糸で結びつく場を考えていきます。ビジネス、育児、子育て、就活、婚活などの経験智を伝承していくことも貴重な取り組みと考えます。

2期目の当選を果たされた渡辺山口市長との懇談の際にも山口市を離れ、上京して学ぶ大学生の生活の安全から就職活動のサポートまで、山口七夕会の活動に幅広く期待を寄せられていました。

これから7月の総会に向けて、会員の皆様と山口市役所、さらにはふるさと山口市のみなさんとの交流を深めながら、『ふるさと山口市』を絆に交流とつながりの10年計画<山口七夕会2020ビジョン>を策定していきますので、よろしくご協力をお願いします。

平成22年(2010年)2月

山口七夕会

会長 八木重二郎



## 「首都圏事務局」発足!

昨年、11月28日に開催された、「第11回山口七夕会会員交流会」で案内誘導や受付を手伝ってくれた30代の会員がその後の役員交流会などでスタッフとして手伝ってくれたり、山口七夕会のPRを積極的に行ってくれています。

この若い力を有効に活用し、発揮できる場として、『首都圏事務局』を立ち上げました。さらに若い世代と中高年の会員の接着剤になってくれると期待しています。みなさん、暖かく見守ってください。

首都圏事務局長(幹事長兼務) 山縣正彦

【分担】

- 総務担当: 重宗雄造(佐藤総合企画)
- ITC担当: 米川孝宏(HUBネットワークス)
- 渉外担当: 杉山茂(プルデンシャル生命保険)
- 芸術文化担当: 田中菜穂(Taja: vocal/songwriter)

## 交流会/昼の部

昨年、11月3日(祝)に初めて役員懇親と意見交換を兼ねて「役員交流会/秋」を開催しました。10月27日が明治維新回天の先覚者、吉田松陰先生の没後150年にあたることから松陰先生ゆかりの地である小塚原回向院、伝馬町牢屋敷跡を巡り、魂の安らからんことを祈りました。役員、役員のお仲間、そして若手スタッフを合わせて12名の参加をいただき、懇親を深めながら、今後の山口七夕会の活動について語り合うことができました。

また、新年、1月16日(土)には松陰神社にて初詣の御祓いを受け、三軒茶屋で鴨鍋をつつきながら新年会でした。年末の「山口市での意見交流会」に参加された会員の紹介でさっそく新規に入会された30歳の女性の参加が新年にふさわしく新鮮でした。

# 「山口市役所事務局との意見交換会&懇親会」

年末も押し迫った12月30日(水)に山口市において8月に続いて二回目の山口市役所事務局との意見交換会&懇親会を企画しました。山口市内の会員や親しい友人、同窓生にも輪を広げて声を掛けたところ、想像を超えて11名の参加がありました。

山口市内の会員としては、昨年4月に定年退職を機に山口市へ戻られた児玉秀文さん(児玉企画代表61歳)、三井住友銀行勤務時代の2年前に東京で会員になられUターンで山口市に戻られた吉田充宏さん(参議院議員岸信夫秘書31歳)に参加いただきました。

また、昨年7月の総会で講演いただいた内山秋久さん(アートフル山口実行委員長・有限会社ぐこう設計工房)や参加者の紹介で瀬川英顕さん(山口県警少年課長54歳)、河内義文(有限会社ケイズラブ代表・山口大神宮総代52歳)にも参加いただきました。

東京からの参加者は、30代トリオの重宗雄造さん(佐藤総合計画38歳)、米川孝宏さん(HUBNetworks CEO36歳)、杉山茂さん(プルデンシャル生命保険36歳)と幹事長の山縣の4名でした。

山口市役所の山口七夕会担当の児玉達哉企画政策課長(50歳)、満瀬亮企画政策課主事(28歳)にはお仕事として参加いただき司会進行、最近の山口市内の状況について報告いただきました。

2時間の予定を超えて、山口七夕会の今後の「ふるさと山口市」との交流などの取り組みやその課題について活発に語り、かつ飲み食べ、次のような積極的な意見が多く出されました。

○日本三大火祭りに「青森ねぶた」、「秋田竿灯」、「山口ちようちん祭」の説もあり、「祭り」で交流もできるのでは。

○親子会員制度を創設=会費を親が負担し、市外の子供に市報「やまぐち」を届けたり、首都圏・地方での交流会があれば親も安心できるのでは。

○親会員へのインセンティブとしては、情に報いる意味で山口市での交流会があってもいいのでは。

○山口勤務者も東京に戻った時に会員拡大のターゲットに！=山口市には異業種交流会のイレブン会などがありNHK、新聞記者など転勤族も多い。山口での交流とつながりがあってもいいのでは。(2010年山口との交流(案)①3月「山口お宝展」(山口商工会議所)②10月「アートフル山口」15周年)

○大学進学の時(3月)に市報「やまぐち」で活動と入会を案内したらいいのでは。

○山口の実家の家の問題(維持や処分)が深刻な人がいるので相談に乗るようなことも必要では。

などなど、時間を忘れて活発な意見交換が行われました。

まとめとしては、①「首都圏での10年」から「ふるさと山口を絆に交流とつながりの10年」に！②「故郷」ではなく「ふるさと」<生まれ、育ち、仕事し、憩い、戻る、心の、第二、第三の「ゆかりの地山口」=「ふるさと」>も大切なのではないかということで、さらに濃厚な湯田温泉の夜は更けていきました。

文・幹事長・山縣正彦

## 今後の予定

### 「交流会/夜の部」

新年1月からは、毎月第2火曜日を定例として、「交流会/夜の部」を開催しています。第1回の1月12日(火)は10名、第2回の2月9日(火)は6名に参加いただき、ビジネスや趣味の話に花を咲かせながら、今後の「会員交流会」の講師の先生の候補者を挙げていただくなど有意義な時間を過ごすことができました。

「第3回交流会/夜の部」

○日 時: 3月9日(火) 19:00~21:00

○場 所: ポールライト都庁店(平成21年11月28日の第11回会員交流会の会場です。)

○会 費: 男性3千円、女性&ノンアルコール者2千円ポッキリ

### 「第3回交流会/昼の部」

○開催日: 平成22年2月27日(土)

(1)ふるさと山口ゆかりの地散策(乃木神社・毛利庭園)

○11:00「乃木神社」社務所前集合

(2)懇親会

○時間: 12:00~14:00

○場所: 神楽坂の Pasta店(予定)

○会費: 5千円程度

### 「第4回交流会/昼の部&お花見」

○開催日: 平成22年4月3日(土)

(1)ふるさと山口ゆかりの地散策(靖国神社・千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

○11:00「靖国神社」大村益次郎像前集合

(2)役員懇親会

○時間: 12:00~14:00

○場所: 銀座の寿司屋(予定)

○会費: 5千円程度

●どなたでもご参加できます。参加を希望される方は、下記にご連絡ください。

① FAX: 042-596-4816

② 郵送: 〒190-0161 東京都あきる野市入野415-19

③ Mail: yamagata1954@utopia.ocn.ne.jp

【幹事】山縣正彦(山口七夕会幹事長)